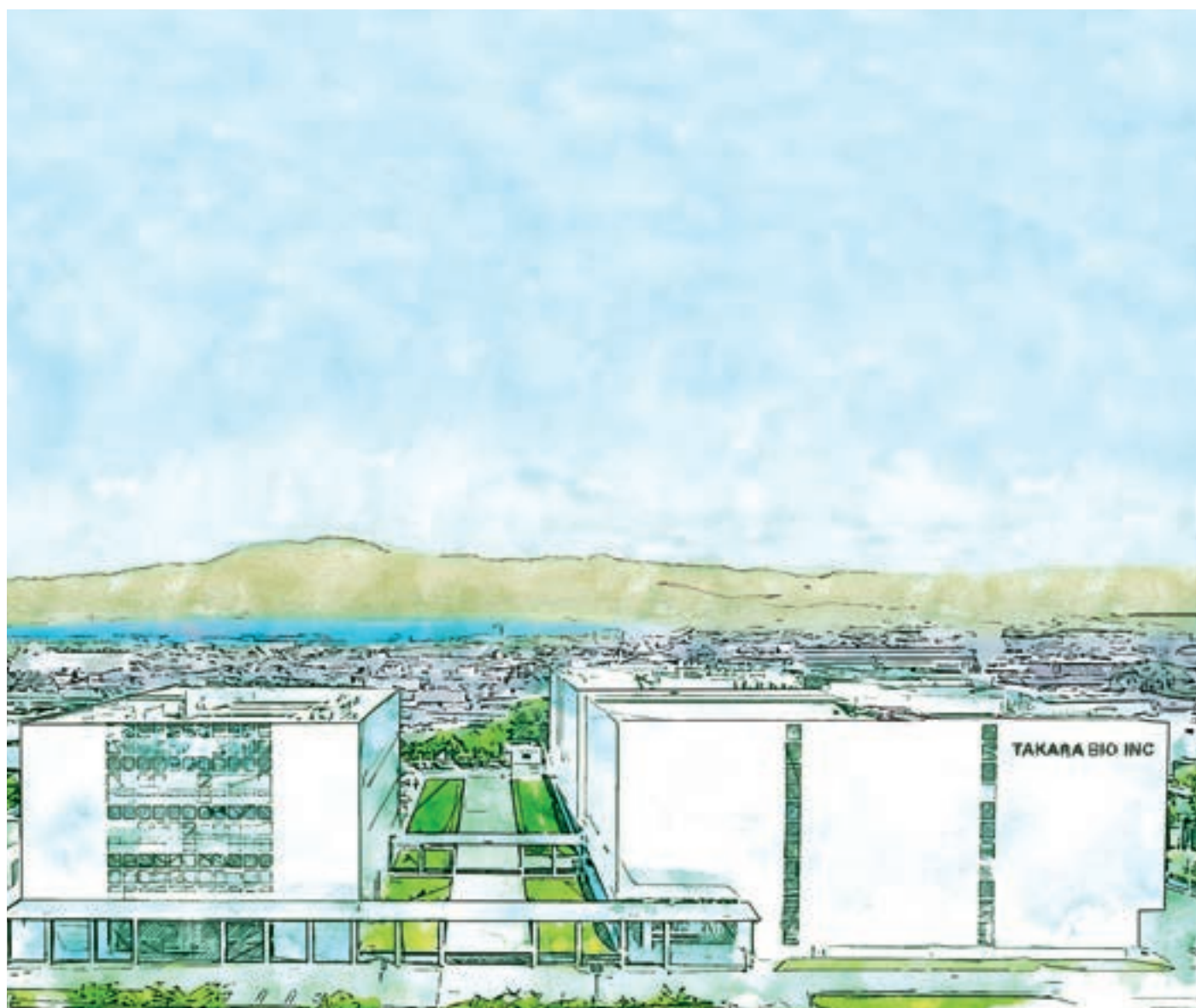




第21期 中間報告書  
2022年4月1日～2022年9月30日  
株主のみなさまへ

THE BIOTECHNOLOGY  
COMPANY™



タカラバイオ株式会社

証券コード：4974

# 遺伝子治療などの革新的な バイオ技術の開発を通じて、 人々の健康に貢献します

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第21期第2四半期連結累計期間の事業概況をご報告させていただきます。

代表取締役社長 仲尾 功一



## 第2四半期連結累計期間の業績について

2022年度(第21期)の当社グループは、2025年度を最終年度とする6カ年の「長期経営構想2025」および本年を最終年度とする3カ年の「中期経営計画2022」のもと、試薬・機器事業とCDMO事業を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を進め、新モダリティを継続的に創出する創薬企業を目指すための取り組みを推進しています。

また、新型コロナウイルスの検査関連製品の安定的な供給や、再生医療等製品の製造体制整備等に積極的に取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、機器と受託が前年同期比で減少したものの、試薬と遺伝子医療が前年同期比で増加したことにより、32,587百万円(前年同期比3.3%増)と増収となりました。

売上原価は、売上構成の変化等により原価率が上昇し10,562百万円(同31.1%増)となりましたので、売上総利益は、22,025百万円(同6.3%減)と減益となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等が増加し、11,154百万円(同18.8%増)となり、営業利益は、10,870百万円(同22.9%減)と減益となりました。

営業利益の減益に伴い、経常利益は、10,955百万円(同23.1%減)、税金等調整前四半期純利益は、11,831百万円

(同16.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8,538百万円(同14.7%減)とそれぞれ減益となりました。

### ■第2四半期 売上高・営業利益・研究開発費

売上高 **325億円** 前年同期比 **3.3%** ↑

営業利益 **108億円** 前年同期比 **▲22.9%** ↓

研究開発費 **38億円** 前年同期比 **44.9%** ↑

### ■通期の見通しについて

通期の業績については、当第2四半期連結累計期間の業績および直近の状況を踏まえ、2022年5月12日に公表した業績予想を修正しました。

売上高は、受託が前回発表予想を下回るものの、試薬、機器、遺伝子医療が前回発表予想を上回る見込みです。

特に、試薬は一般研究用試薬、新型コロナウイルス検査関連試薬がともに前回発表予想を上回る見込みです。増収により売上総利益が増益となることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回発表予想を上回る見込みとなりました。このため、通期の連結業績予想を修正するものです。これらにより、通期連結業績については、売上高77,800百万円(前年同期比14.9%増)、営業利益19,000百万円(同34.3%減)、経常利益19,100百万円(同32.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益13,800百万円(同30.5%減)を見込んでいます。

### ■配当について

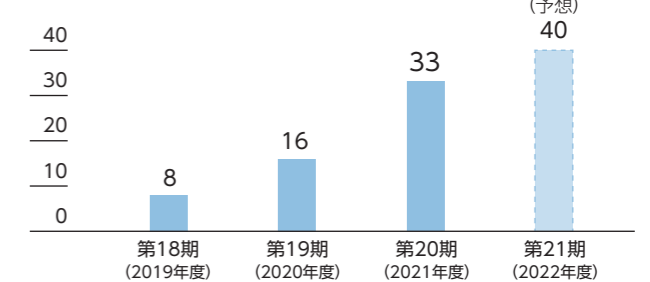
当社は、研究開発活動を積極的に実施していくため、内部留保の充実に意を用いつつ、株主の皆様への利益還元についても重要な経営課題と位置づけ、経営成績および

財政状態を総合的に勘案して利益還元を実施していくことを基本方針としています。

2022年度の期末配当は、1株当たり40円と、前期の33円から7円、前回予想(5月12日)から7円の増配を予想しています。

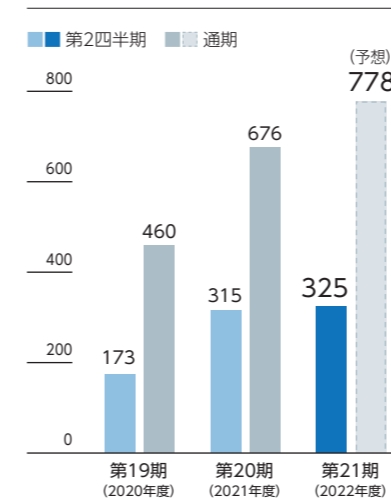
株主の皆様におかれましては、引き続き当社への温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

■1株当たりの配当額(円)

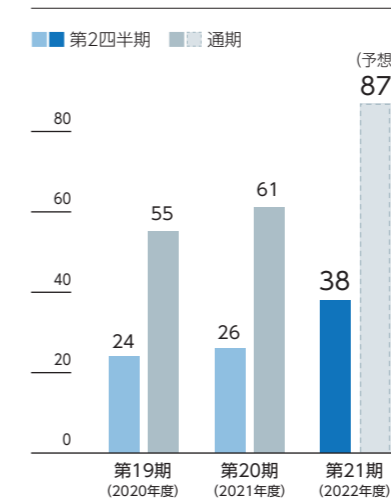


## ■連結財務ハイライト

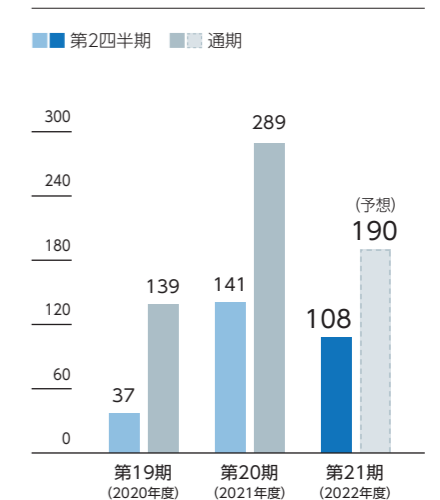
売上高 (億円)



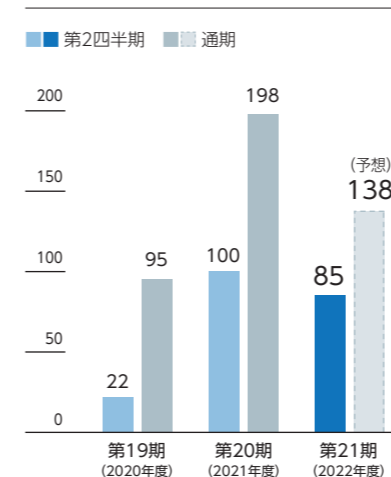
研究開発費 (億円)



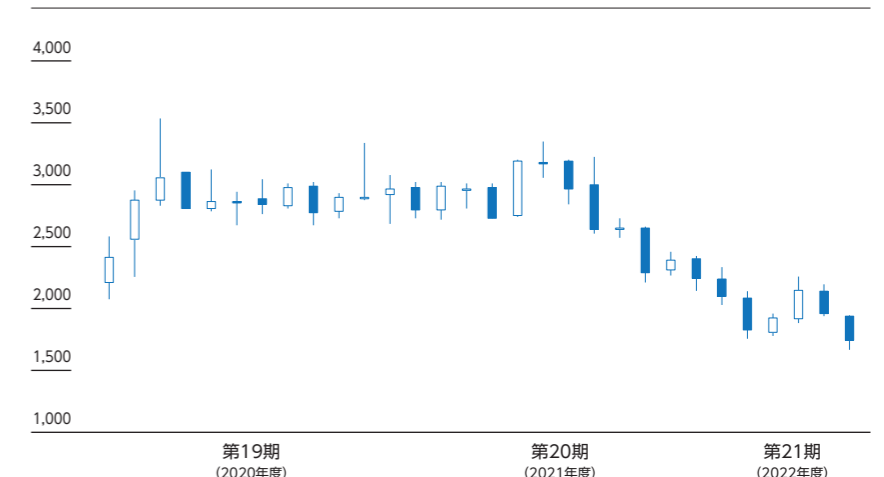
営業利益 (億円)



親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益 (億円)



株価推移 (円)

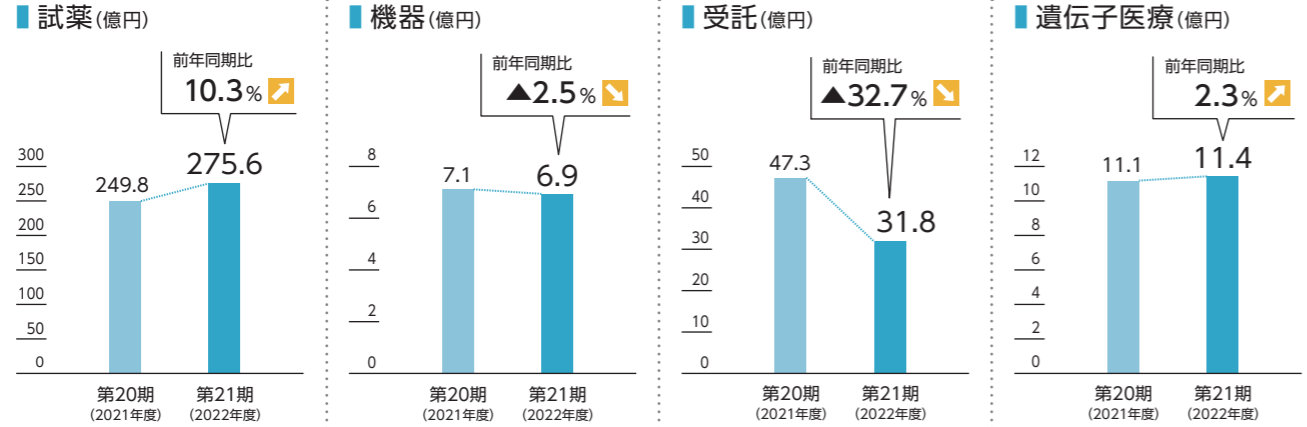


## 事業の概要

大学や企業のライフサイエンス分野の活動を試薬・機器・受託の提供を通じて支援する事業を展開するほか、独自の創薬基盤技術により遺伝子医療事業を展開しています。

当第2四半期連結累計期間は、受託で大型ゲノム解析プロジェクトの終了や新型コロナウイルスワクチン関連受託が減少し、減収となりましたが、日本国内における新型コロナウイルス第7波の影響により関連検査試薬の出荷が大幅に増加したため、全体では増収となりました。

### 第2四半期累計業績(売上高)



新型コロナウイルス関連のPCR検査試薬・抗原検査キットが第7波の影響を受け大幅に伸長しました。



新型コロナウイルス検査用途のPCR装置などが前期並みに推移しました。



大型ゲノム解析プロジェクトおよび新型コロナウイルスワクチン関連の受託が減収となりました。



GMPグレードの試薬類が堅調に推移しました。

※2021年度まで「試薬」に含めていたGMPグレードの試薬類等の売上高を、2022年度より「遺伝子医療」に加えています。グラフは組み替え後の数値です。

## NEWS 1

### 一般用SARS コロナウイルス抗原検査キットを発売

タカラバイオは、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)抗原簡易検査キット「HEALGEN COVID-19 抗原迅速テスト(一般用)」(以下、本キット)について、8月30日に厚生労働省の承認を受け、9月12日より一般用検査薬(第1類医薬品)として発売しました。

当社では、本年3月に厚生労働省の承認を受け、体外診断用医薬品「HEALGEN COVID-19 抗原迅速テスト」を販売しています。本キットはこれを厚生労働省が8月に発表したガイドラインに従ってスイッチOTC化したものです。

スイッチOTCとは、体外診断用医薬品のうち一般用医薬品として取り扱うことが認められた一般用検査薬(OTC検査薬)を指します。本キットは一般用検査薬(第1類医薬品)のため、薬剤師の説明のもと薬局等、あるいはインターネットでの販売が可能です。

今後も、国内の抗原簡易検査キットの安定供給を通じ、新型コロナウイルス感染症対策を支援します。



HEALGEN COVID-19 抗原迅速テスト(一般用)

※写真はイメージです。実際には説明書や添付文書が同梱されます。

## SUSTAINABILITY

### TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言に基づく報告について

タカラバイオグループは、地球環境の保全は事業継続の観点から重要と考え、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)から開示を推奨されている「ガバナンス」、「戦略」、「リスク管理」、「指標と目標」の4項目について、当社グループの対応を公表しています。今後も継続的に気候変動への対策の見直しや具体化を進め、中長期の経営戦略に反映させていきます。

#### ① ガバナンス

「タカラバイオ・サステナビリティ推進委員会」において、気候変動を含むサステナビリティ推進活動に関する事項を定めています。当推進委員会では、気候変動に関わるシナリオの検討、リスクと機会の特定、対応策の協議を行い、グループ各社が事業に反映しています。

#### ② 戦略

当社グループでは、世界の平均気温が産業革命前に比べて2℃未満に抑制される「2℃未満シナリオ」と、同じく4℃上昇する「4℃シナリオ」を用いてシナリオ分析を行い、気候変動のリスクと機会がもたらす事業への影響を把握し、戦略の策定を進めています。

#### 気候変動による事業リスクと機会(抜粋)

リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーや原材料のコスト上昇による財務的影響</li> <li>異常気象の激甚化による製造拠点の被災やサプライチェーンの寸断などの事業への影響</li> </ul>
機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動に関連する感染症の拡大に伴う、新製品・新サービスの機会創出による事業拡大</li> </ul>

#### ③ リスク管理

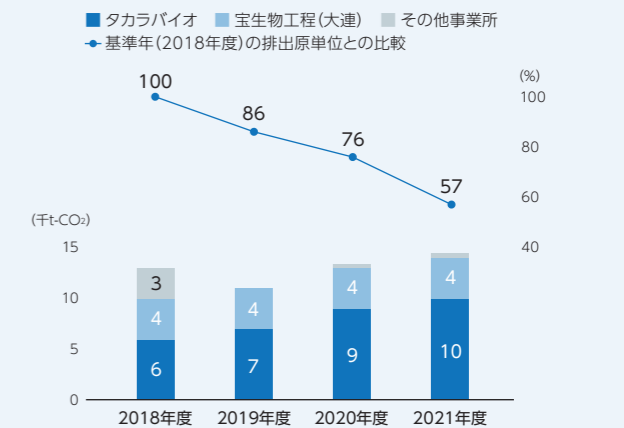
事業継続や財務的影響が大きい主要製造拠点を対象に影響度、発生頻度によるリスクレベルを随時評価して

います。特定したリスク・機会、その対応策は、「タカラバイオ・サステナビリティ推進委員会」で協議し、その結果を取締役に報告します。

#### ④ 指標と目標

当社グループは、2021年6月に策定した「サステナビリティ経営推進基本方針」の中で、2030年度の売上高当たりのCO<sub>2</sub>排出量(原単位)を、基準年となる2018年度比で50%とすることを目標としました。2021年度時点でのCO<sub>2</sub>排出量(原単位)は、2018年度比で57%となりました。

#### 当社グループのCO<sub>2</sub>排出量



※当社グループのCO<sub>2</sub>排出量：Scope1(燃料などの使用による直接排出量)とScope2(購入電力などのエネルギー源の間接排出量)の合計値

詳細はホームページをご覧ください。

[https://ir.takara-bio.co.jp/ja/sustainability/environment/main/08/teaserItems/10/linkList/0/link/220617\\_tcfcd.pdf](https://ir.takara-bio.co.jp/ja/sustainability/environment/main/08/teaserItems/10/linkList/0/link/220617_tcfcd.pdf)



## NEWS 2

### 新規脳指向性遺伝子治療用ベクター「CereAAV™」を開発、受託製造サービスも開始

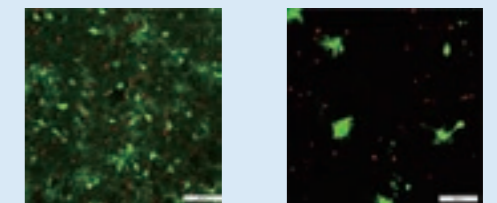
遺伝子治療では、ベクターと呼ばれる治療用遺伝子を細胞に導入するためのウイルスが重要な役割を果たしています。中でもAAVベクターは、遺伝子導入効率が高く、長期間効果が持続することが知られています。AAVベクターを使用した、脳を標的とする遺伝子治療では、静脈注射によって全身投与した場合に脳以外の臓器にも蓄積する傾向があり、副作用の原因となる可能性が指摘されています。このため脳疾患を対象とした遺伝子治療には、脳指向性の高いAAVベクターが求められています。

タカラバイオは本年4月、AAVの一種であるAAV2をベースに、脳指向性の非常に高い新規遺伝子治療用AAVベクター「CereAAV™」の開発に成功しました。

さらに本年7月には、製薬企業・研究機関向けに「CereAAV™」の受託製造サービスを開始しました。

当社は「CereAAV™」を含む創薬技術の開発に注力するとともに、開発した技術を幅広く提供していきます。

#### マーマセットの脳(視床)における遺伝子導入効率の比較



左図：CereAAV™、右図：一般的なAAV  
緑色がAAVベクター投与による蛍光タンパク質発現、赤色が神経細胞の核マーカーを示している。

## 連結財務状況

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2022年3月31日現在	当第2四半期 2022年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	68,141	69,370
現金及び預金	23,633	26,965
受取手形及び売掛金	17,845	16,391
商品及び製品	18,966	18,591
仕掛品	1,361	1,452
原材料及び貯蔵品	3,738	4,074
その他	2,637	1,939
貸倒引当金	△40	△43
<b>固定資産</b>	47,571	50,652
<b>有形固定資産</b>	36,395	38,968
建物及び構築物	17,615	18,826
機械装置及び運搬具	3,479	3,448
工具、器具及び備品	4,014	3,989
土地	8,413	8,747
建設仮勘定	1,519	2,570
その他	1,355	1,385
<b>無形固定資産</b>	9,159	10,031
のれん	6,309	7,186
その他	2,850	2,844
投資その他の資産	2,015	1,651
<b>資産合計</b>	115,712	120,023

科目	前連結会計年度 2022年3月31日現在	当第2四半期 2022年9月30日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	17,380	10,488
支払手形及び買掛金	1,959	1,686
未払法人税等	5,498	2,156
引当金	923	973
その他	8,999	5,672
<b>固定負債</b>	2,266	2,585
退職給付に係る負債	788	788
その他	1,478	1,796
<b>負債合計</b>	19,647	13,073
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	92,868	97,433
資本金	14,965	14,965
資本剰余金	32,893	32,893
利益剰余金	45,009	49,573
その他の包括利益累計額	3,004	9,264
為替換算調整勘定	3,208	9,447
退職給付に係る調整累計額	△204	△182
非支配株主持分	191	251
<b>純資産合計</b>	96,064	106,949
<b>負債純資産合計</b>	115,712	120,023

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
売上高	31,551	32,587
売上原価	8,056	10,562
売上総利益	23,495	22,025
① 販売費及び一般管理費	9,389	11,154
営業利益	14,105	10,870
営業外収益	179	170
受取利息	65	65
為替差益	36	—
不動産賃貸料	65	72
その他	11	33
営業外費用	43	85
支払利息	11	12
為替差損	—	38
不動産賃貸費用	29	32
その他	1	1
経常利益	14,241	10,955

科目	前第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
特別利益	1,188	902
固定資産売却益	0	250
② 受取保険金	—	652
国庫補助金	1,188	—
特別損失	1,227	27
固定資産除売却損	38	12
固定資産圧縮損	1,188	—
その他	—	14
税金等調整前四半期純利益	14,203	11,831
法人税、住民税及び事業税	4,401	2,538
法人税等調整額	△253	721
法人税等合計	4,148	3,259
四半期純利益	10,054	8,572
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,009	8,538

連結損益計算書のPOINT ① 販売費及び一般管理費・・・研究開発費等の増加によるものです。  
② 受取保険金・・・海外からの輸送途中において発生した、悪天候の影響による商品の品質劣化被害にかかる保険金です。

### 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
四半期純利益	10,054	8,572
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,312	6,264
退職給付に係る調整額	23	21
その他の包括利益合計	2,335	6,286
四半期包括利益 (内訳)	12,390	14,858
親会社株主に係る四半期包括利益	12,337	14,798
非支配株主に係る四半期包括利益	53	59

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期累計 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,914	8,672
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,686	△7,518
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,992	△4,034
現金及び現金同等物に係る換算差額	568	1,325
現金及び現金同等物の増減額	△2,195	△1,554
現金及び現金同等物の期首残高	23,308	22,160
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,113	20,606

## 会社概要 (2022年9月30日現在)

### 会社概要

商号	タカラバイオ株式会社 TAKARA BIO INC.
本店所在地	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号 電話 077-565-6920(代表)・6970(IR担当)
設立年月日	2002年4月1日
資本金	149億6582万8496円
事業内容	試薬・機器などの製造・販売事業、 受託事業、遺伝子医療事業
従業員数	1,788名(タカラバイオグループ連結)

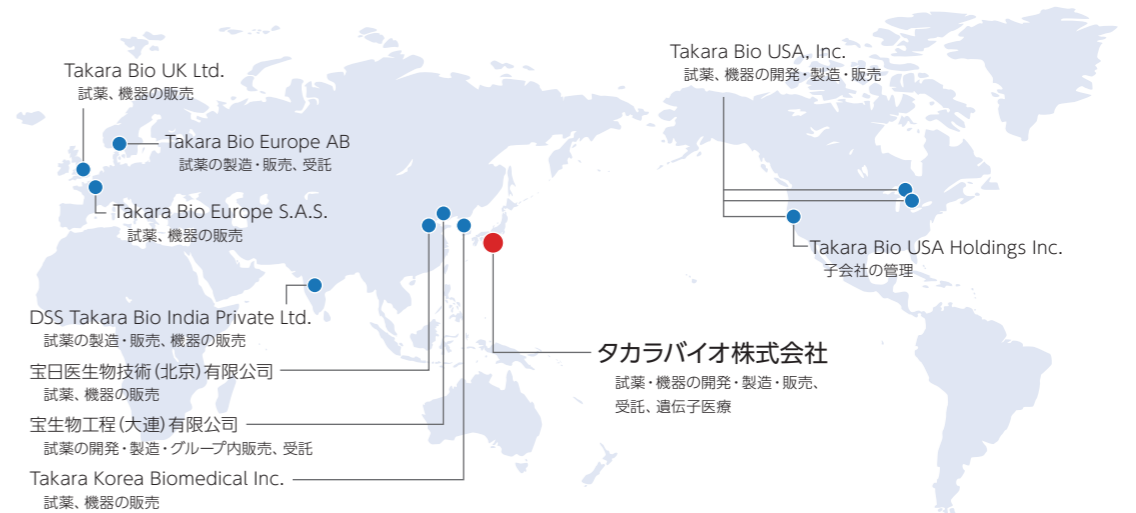
### 株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000 株
発行済株式総数	120,415,600 株
株主総数	45,430 名
単元株主数	41,530 名

### 所有者別株式分布状況



### タカラバイオグループ会社



### 取締役および監査役

#### 取締役

代表取締役社長	仲尾 功一
取締役	峰野 純一
取締役	浜岡 陽
取締役	宮村 毅
取締役	木村 正伸
取締役	木村 睦
取締役(社外取締役)	河島 伸子
取締役(社外取締役)	木村 和子
取締役(社外取締役)	松村 謙臣

#### 監査役

常勤監査役	喜多 昭彦
常勤監査役	玉置 雅英
監査役(社外監査役)	鎌田 邦彦
監査役(社外監査役)	姫岩 康雄
監査役(社外監査役)	牧川 方昭

ホームページでもさまざまな  
情報を発信しています。  
<https://www.takara-bio.co.jp>



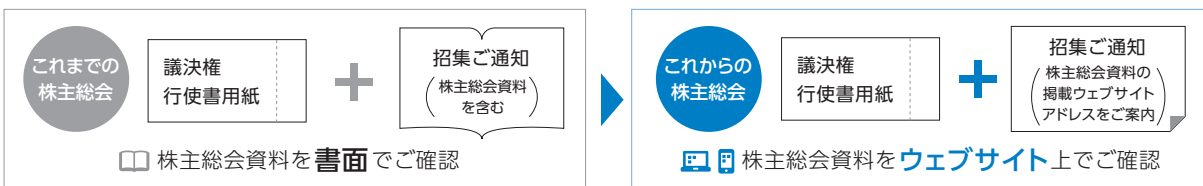
## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
定時株主総会	毎年6月	ホームページアドレス	https://www.takara-bio.co.jp
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。	ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
単元株式数	100株	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場	および特別口座の	みずほ信託銀行株式会社
証券コード	4974	口座管理機関	

### 「株主総会資料の電子提供制度」に関するご案内

会社法改正により「株主総会資料の電子提供制度」が施行され、これまで招集ご通知に記載してご郵送しておりました株主総会資料（株主総会参考書類、事業報告、連結計算書類、計算書類、監査報告）の内容につきましては、原則としてウェブサイト上でご確認いただくこととなります。

これに伴い、2023年6月下旬開催の当社定時株主総会では、ご郵送する招集ご通知に、株主総会資料をご確認いただくためのウェブサイトアドレスを記載してご案内する予定です。



※議決権行使書用紙は、原則としてこれまで通りお送りいたします。また、当社の判断で株主総会資料の一部等を同封する場合もございます。

#### 引き続き書面での株主総会資料の受領を希望される株主様へ

インターネットのご利用が困難であるなど、引き続き書面での株主総会資料の受領を希望される株主様におかれましては、「書面交付請求」の制度が設けられていますので、下記までお問い合わせください。

**書面交付請求に関するお問い合わせ先** お取引されている証券会社 または みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
みずほ信託銀行専用ダイヤル:0120-524-324(フリーダイヤル) 受付時間 平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝日を除く)

※2023年6月下旬開催予定の当社定時株主総会において書面での受領を希望される場合は、その基準日である**2023年3月31日**までに書面交付請求のお手続きを完了いただく必要があります。お手続きにはお時間がかかる場合がございますので、お早めにお問い合わせください。

ご参考:「株主総会資料の電子提供制度」に関するQ&A

▶ [https://contact.www.mizuho-tb.co.jp/category/show/72?site\\_domain=daikou](https://contact.www.mizuho-tb.co.jp/category/show/72?site_domain=daikou)

(検索エンジンにて「みずほ信託 電子提供制度FAQ」で検索ください)



## 株式に関するお問い合わせ先 以下の表をご覧ください。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝日を除く)
マイナンバーのお届出に関する電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-84-0178(フリーダイヤル) 受付時間 平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝日を除く)
各種手続お取扱店(住所変更、配当金受取方法の変更等)		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店	※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
ご注意	支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買はできません。株式売買のためには、証券会社にお取引口座を開設し、みずほ信託銀行の特別口座から株式の振替手続が必要となります。

### ■単元未満株式を保有されている方へ

単元未満株式(100株未満株式)をお持ちの場合、会社に対して買取の請求を行うことができます。

【お問い合わせ先】証券会社の口座で管理されている単元未満株式 ⇒ 口座を開設されている証券会社

特別口座で管理されている単元未満株式 ⇒ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

免責事項: 本報告書に記載されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

タカラバイオ株式会社

〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目4番38号  
URL: <https://www.takara-bio.co.jp>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



この印刷物は、環境に配慮した植物油インキと、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および再生資源から作られた紙を使用して制作されています。

